

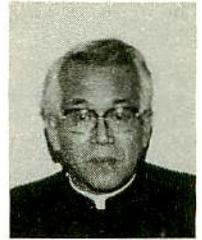


# 京都教区時報

特集 京都教区教勢一覧・召命  
今月の小教区の頁 — 桂教会

第54号

発行所  
京都市中京区河原町三条  
カトリック京都司教区  
広報室 (Tel 211-3768)  
編集責任者 村上透磨  
編集部 教理センター  
田中司教認可



獲り入れは多けれど！  
教区共同体の共同責任としての召命促進  
藤堂 隆

御復活祭おめでとうございます。

パウロ6世教皇が復活第四主日を世界召命祈禱の日と定められ、今年はその十五回目にあたることは皆様御存知のことと思います。この時報が出るころには、ことによると召命に関する教皇様のメッセージがカトリック新聞等に報じられているかも知れません。京都教区における召命促進についてのべるには、その器とは思いませんが、教区司祭養成担当者として何かかりを持つので、一言のべさせていただきます。ただ、ここに記します事は、現状報告とそれを基にした私見でありますのでその旨ご了承いただきたいと思います。青少年の男女信徒で司祭や修道者を志す人の数が減少しているのは、どちらかと言えば世界的な傾向で、特に日本においては二十年前と較べると著しいものです。この問題について、早くから特に関心を示しておられたメリノール会の神父様方から京都教区に邦人司祭召命促進のための専従司祭をおくようにと数年前から声があがっていました。そしてメリノール会はチャイコフスキー師をその任にあてられたのです。神父様の活躍は、私達の記憶に新しいところですが、しかし神父様は、昨年の九月にその使命を終えて大分教区に転任されました。その後任を邦人司祭の間から出すことが求められましたが教区司祭の月例会の話し合いの結果、それは果されませんでした。

した。そして専従者を置かず、チャイコフスキー師の仕事の種々な面で手伝うために作られていたこのチームに田中司教様御自身と村上真理雄師も加えてこれを強力にし、月一回の集会を持って、相談しながらその仕事を続けて行くことになったのです。去年九月からこのチームによる会合が開かれています。

メンバーは前記お二方の他に、ノートルダム会、ヌヴェール会、聖母訪問会、ウイチタの聖ヨゼフ会から各一名のシスター、それにメリノール会のライリー神父様と私の八名です。今年の計画としては二回の召命練成会開催が決り、その一回目は、四月二十二日④二十三日⑤の両日にあてております。

しかし召命促進は、教区共同体の盛り上りを要します。それで親交会を核にした一粒会、教区各地区の壮年、婦人、青年の各代表などで召命促進委員会が前記のメンバーと共に構成されて信徒全体のこの問題に関する熱意が一つにまとめられたらと願っています。

「福音宣教にとって、こんにち一番大切な召命促進は共同体の共同責任である。」と札幌の富沢司教様は問題提起をしておられます。求道者アンブロジーヌは、小教区共同体の「アンブロジーヌを司教に」という声によって洗礼、叙階の秘跡を受け、聖人にまでなつたのです。

(教区司祭養成担当者)

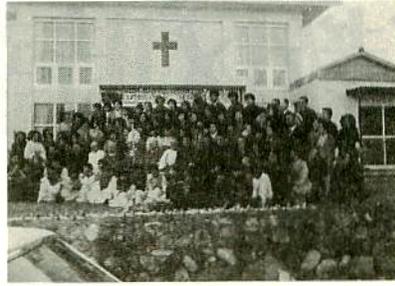


- ▽三月二十五日① 国際宗教同志会総会 於・河原町カトリック会館
- ▽三月三十日② 午後七時 アッシジ合唱団京都公演
- ▽三月三十日③ 三十一日④ 正義と平和全国教区担当者連絡会議 於・四月一日⑤ 二日⑥
- ▽四月一日⑦ 南壮連練成会 於・青少年山の家 於・四月三日⑧ 五日⑨
- ▽教区高校生合宿 於・北白川教会 於・中学生合宿 於・青少年山の家

- ▽四月二十日⑩ カトリック児童福祉会担当者会議 於・河原町カトリック会館
- ▽四月二十一日⑪ 教区内男女管区長会議 於・唐崎 於・四月二十二日⑫ 二十三日⑬ 召命を考える練成会 於・唐崎
- ▽四月三十日⑭ 午後一時 安土セミナーヨ跡記念ミサ
- ▽五月一日⑮ 司祭評議会定例総会 於・河原町カトリック会館
- ▽五月五日⑯ 高山右近記念式典 於・大和榛原
- ▽五月五日⑰ 七日⑱ JOC青年の祭り 於・南山高校

# 上野教会の増改築完成

上野教会では近年、教会建物の、老朽化による出費になやまされて来たが、主任司祭ウイッテ神父様と信者たちの一致協力によりメリノール会の援助を得て、根本的な改築と一部増築が完成し、去る一月二十九日田中司教様と大勢の来賓を迎えて落成式を行なった。



完全な暖房と全館じゅうたんを敷きつめた心地よい教会に生まれ変わり、信者たち

の寄附により設備も行きとどいてすばらしい環境の中で感謝に満ちあふれている。

ここまで来るためには小人数ながらも特別献金を積み立て、また日曜日ミサの後には、当番がつくる暖かいうどんやそばを全員が、何ばいもおかわりして一語に食べることににより親睦をはかり、その利益は積立てるなど、地味な努力を積み重ねて来た。

これを機会に、今後は更に積極的に外

に向って、本来の使命である福音の宣布と神様の証人となって行きたいと信者一同張り切っている。

## 京都教区

### 修道女連盟発足

現在、教区内には20の女子修道会があり35の修道院で300名を越える修道女達が神の国の建設のため、特別な召命に應えて、日夜、信仰は申すに及ばず教育、福祉、その他の分野で福音の証し人として活躍している。これは今日の教区建設のために大きな力となって来た。

彼女達と同じ教区内にあるものとして教区共同体を築いて行くため、更に縦横の連携を深めて行くため、かねてよりその準備を進めて来たが、去る2月26日、関係者の集りをもって正式に「京都教区修道女連盟」として教区の進歩と発展を願って発足した。

その日選出された役員は以下のとおりである。会長Sr安藤(ヌヴェール会)、副会長Sr中川(聖母訪問会)、役員Sr今村(ノートルダム教育)、Sr安西(コングレガシオンND)、Sr今西(聖母の騎士)

## 福音と部落問題学習会

三月十二日、午後二時より私達「正義と平和協議会」は、信徒のための同和問題に関する学習会を行いました。この日は天候が変調でしたが、それでも十数名の信徒の方々が参加して下さいました。

学習会はまず「主の祈り」を唱えた後に

越知神父の発題で始まり、この中では「福音についての知識よりも、「福音」の在り方について重視しなければならない、少なくとも同和問題に関しては70%の行動と30%の知識でなければならぬ」と強調されました。この後に、差別問題を取り扱った物語が朗読され、これについてグループ別の討論が行なわれました。この中で、被差別体験をもつ一人の参加者が自己の体験を述べた後、「熱心な信者ほど差別する」と訴え、教区と差別問題について再度の討論が行なわれました。各グループの報告が発表された後に、西陣教会の井上氏が、「差別問題は構造的なものであり、家庭教育、仕事の各分野に於て、同和地区住民が劣悪な立場に追い込まれている事が差別されていることなのである。」とまとめられ、午後4時半に終了しました。

なお、第二回の学習会は五月中旬に行う予定です。(正平協事務局)

## 巨星墜つ

### 田口枢機卿帰天

大阪教区長、田中芳五郎大司教、枢機卿は、二月二十三日腎不全のため七十五才の生涯を静かに天に帰した。

葬儀ミサは二月二十七日大阪カテドラル聖マリア聖堂で行われ二千人が参列、しめやかな中にも盛大に行われた。戦時中、及び戦後のカトリック教会発展の最も大切な時期に日本の教会のためにつくした功績は偉大で各方面から哀惜の声が寄せられている。

## 勤労キリスト者の担当司祭

### アジアレベルで研修

ACO(カトリック労働者運動)の略称で関係者に知られている勤労キリスト者使徒職団体は2月初めに東京で担当司祭を含めたアジア地区集会を開いたが、その後引き続き担当司祭たちの研究会を京都働く人の家(西野師担当)で2月13-15日におこなった。

カナダから来日した全世界会長を中心にインド、スリランカ、バングラデッシュ、フィリピン、韓国等そして日本各地からの担当司祭10数名が集って、異なった国情と条件のもとでの問題点を話し合い、貴重な経験の分かちあいをした、地元教区長田中司教も一度集会に出席し、あいさつを述べた。

## 祝、永久誓願

次の方々が永久誓願を宣言されました。日本の教会のためよき働き手となるよう祈りましょう。

Sr マリア・村田加代子 三月十八日

於・ウイチタ聖ヨゼフ修道女会竜安寺修院

Sr 辰巳邦子(聖ウルスラ会)

三月二十五日、於・大和八木教会

Sr マルガリタ・マリア 服部悦子

四月三日 於・善きサマリヤ人修道会

## 主の平安

松田とよ(松田友明師ご母堂、西陣教会主任)は一月十四日心不全のため急逝された。八十八才。

葬儀ミサは四国、丸亀教会で高松教区深堀司教臨席を仰ぎ、地元教会関係者、親族多数出席のもとに盛大に行われた。

### 司祭研修会報告

#### 入信の秘跡とゆるしの秘跡について

去る二月二十七日九時から翌二十八日四時頃まで東京よりサレジオ会員、中垣純神父様をお招きして、之等の秘跡についての研修会が、宇治カルメル修道会において、司祭約三〇名の参加のもとに行われた。時間の制約もあり盛沢山の内容が短かい間に密度こく語られ、終り頃には中垣師の声もかすれぎみになった程熱のこもったものであった。

講義内容については、紙面も足りない事であり、成人入信式儀式書等もすでに出ている事でもあり、くわしく述べる事をさし控える事にして、ごく要点のみを、紹介したい。所で典礼の変更と云う時使われる言葉や行われる動作の違いだけに注目しがちであるが、その変更していくに際して、「何故そうなるのか」その精神的な背景を知らなければならぬ。

その精神的、神学的、司牧的な基礎は、儀式書の中でや、もすれば見落しがちな「序言」を注目し、よく研究しなければならぬ。序言は単なる前書きではなく、理論的、精神的な原理が語られているのである。まず入信の秘跡についての主な特徴については大体次の様な事である。

一、入信の式の名称の通り、この秘跡は洗礼だけでなく、特に信仰にか、わる秘跡洗礼、堅信、聖体の秘跡の三つである。これは聖土曜日に一貫して授けられる。それは之等の秘跡が復活秘義と結びつ

ており、信仰に迎え入れられ、強められ養われていくべきものである事を悟る意味においてもふさわしいものと思われからである。

(二)入信の式は「歩み」としてとらえられていると云う事、それはキリストの救済史に組入れられると云う事(これも十分説明を用する事であろうが)従来一度に行われていた洗礼式は四旬節から復活祭にかけて段階的に行われると云う事である。もともと入門式も加えらるるとそれは入門講座の期間も含まれる訳である。四旬節第一主日からさかのぼって約数ヶ月前に行われる。この時から求道者として迎えられ、教員として認められる。

四旬節第一主日に洗礼志願式が行われ、清めと照しの典礼が行われる。

聖土曜日の夜、入信の秘跡の祭儀が行われ、堅信、聖体の両秘跡も同時に授けられる。

(三)もう一つの大きな特徴は、この式が共同体の式であり、共同体の喜びである事である。そのため日曜日等の信者の集まっている時(もともともふさわしいのは聖土曜日)に行われる事がぞましい。

其外種々の特徴があげられようが、この実施はすでに始まっており、数年間使ってみて多少の改訂が行われるはずである。

ゆるしの秘跡について実施はまだ、儀式書が出、準備された後まで待つとの事である、従ってその仕方については次号あたりに紹介出来るのではないかと思われる。

### 司教の足どり

(一月～三月)



1月	16	21	霊的生活研修会(先布)
	22	①	御所教会堅信、聖ヨゼフ老人ホーム、カノッサ修道院訪問
	23		教区カテキ斯塔会総会(山科)
	24		日本宣教司牧センター理事会(東京)
	27		田口枢機卿見舞(阪大病院)
	28		聖母の家代表と面談。マリスタ
	29	①	会総長来訪
	30		上野教会増改築落成ミサ。メリノール管区長と面談
2月			邦人司祭月例会、顧問会
	1		ノートルダム教育、地区長来訪
	2		教理センター5周年ミサ(二条)
	3		園部こひつじの苑、亀岡訪問
	4		女子カルメル会訪問
	5	①	長崎補佐司教(松永)祝聖式(浦上)
	9		唐崎教会訪問
	10		司祭評常任委
	12	①	宇治教会ミサ、小倉修道院訪問
	13		朴司教(韓国)来訪
			邦人司祭月例会、MMTC働く
3月			老人ホーム寿荘訪問
	1		顧問会
	2		BC Cカテキスタ来訪
	3		南壮連
	5	①	司祭評総会
	6		長岡幼卒園児河原町巡礼
	7		ノートルダム女子大卒業式
	9		女子カルメル会ミサ
	10		ピニエドリ枢機卿と面談(大使館)
	11		WCRP研修会(日光)
	13	①	ノートルダム小卒業式
	14		ノートルダム小卒業式
	15		人の家訪問
	18		京都府庁、ウチタの聖ヨゼフ訪問
	19	①	メリノール会代表来訪
	21		聖ベルナデッタ祭(聖母学院)
	23		青谷教会ミサ
	24		臨時顧問会
	25		ノートルダム高校卒業式、大阪大司教館中開
	26	①	聖母学院高校卒業式
	27		国際宗教同志会(諸宗教三条)
			教区修女連発会
			田口枢機卿葬儀ミサ(玉造)
			暁星高校卒業式(宮津)
			大宮、峰山、網野、加悦教会訪問。宮津地区信徒代表者会(宮津)

「右近顕彰の日」

—記念ミサ—

二月十二日、大阪・高槻市にある高槻カトリック教会でキリシタン大名「エヌト高山右近顕彰の日」記念ミサがおこなわれた。北風吹く寒い日であったが聖堂で約二百名の熱気のうちにおこそかに聖祭がすめられた。

右近の研究者として知られるチーヌリク神父(イエズス会)の講演で、一般歴史書の間では見られない右近の新たな横顔が紹介され現代に生きる私たちの心に強く印象づけられた。

高槻市は織豊時代に高山右近を城主として栄えた城下町であり、また右近がキリスト者として信仰にめざめた大名として活躍した土地ともいえる。

信長、秀吉を地上の主君に仰ぎつ、右近は短期間に集中的な布教に力を注ぎ、現代社会の福祉事業よりも一歩進んだ福祉社会「神の国」の実現に力を尽したといわれる。

社会に生きつ、信仰生活を貫き通した右近を知ることにより、現代社会に生きる私達も毎日の生活の中で私達自身の信仰をあらわしてゆくことの大事さをおぼえた。

右近像

マニラにも建立

高山右近は、三百六十年ほど昔、キリシタン大名として、マニラに追放されかの地で病氣のためその生涯を天に帰した。

このマニラ市に四年前から日比友好のシンボルとして計画された右近の銅像と

日本庭園がようやく完成、11月17日両国の関係者ら約三百人が参列して除幕式が盛大に行われた。

完成された日本庭園はマニラ市バコ駅正面のプラザ・テラオ(黄色い広場)の一角に設けられ、千九百八十平方メートルの広さ。右近像は、その中央に建てられ、まわりを高山家の紋(聖書の七つ星



から取られている)を表した七つの小庭園で囲んでいる。

このほどマニラで研修中の松本三朗師より、マニラ滞りも残りわずか元気だがんばつているとの便りと共に、マニラ市に建立された右近像の写真も送られて来た。しかし建立にあたっては、付近の貧しい人達が立ち退きを強いられたり、建立工事が妨害される等、背後に複雑な事情があると伝えてきている。

南十字星の輝く空の下、遙か祖国日本をのぞんで立つ右近の信仰を私達のものにしたいものである。

同和問題を考える(二)

井上新二

日本カトリック正義と平和協議会合同会議において「同和」問題に関して今後の私達の実課題として五項目が決議された。その第二項目について述べてみたい。それには「部落問題を視点として司牧、宣教活動の点検」ということがあげられている。キリストの愛の教えとキリストにおける私達一人一人の救いを宣べ伝えることは我々キリスト者にとって大きな課題である。

しかし「キリストと共に歩こう」と呼びかける私達の声が現実ばなれしたこととして、受け止められたり、時として説教台からなされる説教が、キリスト者自身にさえ空しく聞えるのはなぜだろうか。厳しい現実の中で痛み、苦しみ、悩み続ける人々。しいたげられた人々を取り囲む非人間的な現実、そのことを私達キリスト者は直視せず、抽象化された世界の中でキリストの愛を語っていたのではないだろうか。「キリストと共に歩く」とは、その厳しい現実の中で具体的にどう生き抜くことなのか、あるいは社会の不正義の中で差別を受け痛み苦しみ悩み続けている人々に具体的にどのような関わりをすればいいのか。そのことを「キリストと共に歩こう」と人々に呼びかける中で明確にしていく必要がある。

京都の川端署員による差別身上調査事件が一九七五年十一月七日に起った。川端署員が知人から依頼された捜査といわって綾部市役所市民課戸籍係に電話し結婚の相手が同和地区出身者がどうかを調べるといふ差別身上調査を行った事件である。このことに象徴されるような結婚差別は数多く頻発している。

若し二人が将来を誓い合い共に歩き始めようとしている前に部落差別が大きな障害として立ちばだかることがある。この障害に対して具体的にどのような乗り越えていくことがキリストと共に歩くことになるのかを明確にしなければならぬ。又部落差別の前で苦しむ「若し二人に対して、周囲の親が、そして私達自身がどのように関わっていくべきなのか、その具体的な道すじを教会は明確にしなければならぬ。かつてキリストが苦悩する人々に具体的な生き方を指し示したように。又私達が同和問題をキリスト者として正しく受け留められるように説教や、教理研究の中で部落問題がテーマとして積極的に取り上げられることを提案したい。さらに、ミサにおける共同祈願の中での同和問題の位置づけ、そして「差別を受けとめ回心する日」(仮称)の説定などを強く要望したい。

これらのことを通して少しずつではあるが、部落差別の中で苦悩する同和地区の人々の存在が私達に真に見えてくるのではないだろうか。その時始めて私達の「キリストと共に歩こう」という呼びかけが現実の中で重みを持つてくる。

一方、幸いにして同和地区の人々の中に信仰を得られた方がいる。しかし、部落差別という想像を絶する厳しい現実の中で信仰を守り抜くことは極めて困難なことだろう。信仰を得られた同和地区の人々に対して、教会として組織的な必要ならぬ日常的な交わりが必要なのではないだろうか。このこともあわせて今後の課題として提案したい。

(つづく)

# お知らせ

## 来たれ若人

### 「働く青年の祭り」

一緒に話し合って生きる喜び、希望を  
みつめてゆこう!!

日時 五月五日④～七日⑤

場所 南山学園・男子部・名古屋市昭  
和区五軒家町六

会費 三〇〇円 原則として不参加  
の場合でも返しません。

プログラム

話し合い、お互いの生活のわか  
ち合い・レクリエーション(歌  
・ゲーム)

主催 カトリック青年労働者連盟(J  
OC)

連絡先京都働く人の家(JOC)京都  
市南区唐橋川久保町

電話 六七二一六五六九

## 高山右近祭御案内

### 大和八木教会

日時 五月五日、子供の日

場所 奈良県榛原町沢城跡

内容 榛原町右近記念碑前に午前九時  
四十五分まで集合

集会後皆で沢城跡まで登山(約  
四十分)

ミサ10時30分～12時(山上にて)

(ミサ中、献茶 詩吟、俳句の  
奉献があります)

ミサ後下山、地元の人々と交歓  
しながら昼食(昼食代三百円)

1時30分よりレクリエーション

●子供達のための小運動会

●ふるさと句会の人々と句会

●お茶会(茶席二百円)

十六時にすべて終了の予定

高山右近が幼年時代を過ぎた沢城跡で  
右近をしのびながらさわやかな五月の  
休日と共に過しましょう。

この日のミサは山上で田中司教様によ  
る式式で行われます。京都教区のすべ  
ての皆様につきしんで御案内申し上げ  
ます。なお榛原駅から記念碑前まで貸  
切りバスが出ます。バスと昼食茶券の  
申し込みは四月十六日まで八木教会まで。

## 東洋の霊性をさぐる

### 京都カトリック教理センター

インドから聖心会の二人のシスターを、  
おむかえして、お話を伺いたいと思  
います。東洋の霊性を携えて来られるこ  
のシスター達は、一ヶ月の間日本に滞在  
し、深い宗教体験と洞察を私達に分け与  
えて下さる事になっていきます。以下場所  
は何れもカトリック会館

●五月七日① 一時より五時まで  
講話とスライド「アシュラム、グ  
ルとキリスト者」

●五月十一日② 六時三十分より九  
時までヨガ 祈りへの道

●五月十二日③ 六時三十分より九  
時までヨガ 解放への道

●五月十三日④ 一時三十分より五  
時まで東洋的観念へのキリス  
ト教的アプローチ

## 連続講話

# 信徒使徒職とは………

その(一)

最近 教皇パウロ六世より、  
エバンジェリイ・ヌンチアン  
ディ(福音宣教)に関する教  
書が出されましたが、この中  
の信徒使徒職に関する部分に  
ついて信徒の立場から、いか  
に考えるべきかを、やさしく  
書いてもらおう事にしました。  
五、六回の連載の予定ですが  
信徒使徒職についての、御意  
見、御質問をお寄せいただき  
共に考えていきたいと思いま  
す。(編集部)

「私は忙しくて、とてもそんな時間は  
ありません。」  
「私はそんなことができないような立派  
な信者ではありません。」  
信徒使徒職について多くの信徒から聞  
く言葉です。

前者は、信徒使徒職とは信徒が集って  
やる何か特別な行事のことと思ってい  
るようです。

後者は、信徒使徒職とは立派な信者の  
するものと思っっているようです。

どちらも間違いです。

ところで、洗礼を受けたということは  
一人一人福音宣教の使命を受けていると  
いうことです。福音宣教という、キリ  
ストを知らない人々に福音を告げ、洗礼  
を授けて信者を増やすことと考えがらで  
すが、福音宣教はそれだけに止まるもの  
ではありません。教皇パウロ六世は、エ

バンジエリイ・ヌンチアンディ(福音宣  
教)で、「教会にとって福音宣教とは、  
……人類を内部から変化させ、新しくす  
るといふ意味を持っています。」又「教  
会は福音宣教者ですが、それには先ず教  
会自身が福音宣教されねばなりません。」  
「まず最初に洗礼を受け、福音にしたが  
った生きかたによって新にされた新しい  
人々がいなければ、新しい人類は生まれ  
ません。」と述べておられます。

情報過剰の時代に生きる現代人は言葉  
に対する感覚が鈍り、言葉を信じなくな  
ってきています。神の「良い知らせ」を  
もたらずには難しい状態といわねばなり  
ません。「教会にとって福音宣教の最初  
の方法は、キリスト教徒としての真正な  
生活のあかしです。」(福音宣教)福音は、  
福音に従って生きる「あかし」によって  
宣べられねばなりません。これが真の福  
音宣教です。

「すべてのキリスト者は、この『あか  
し』に召されています。」(福音宣教)

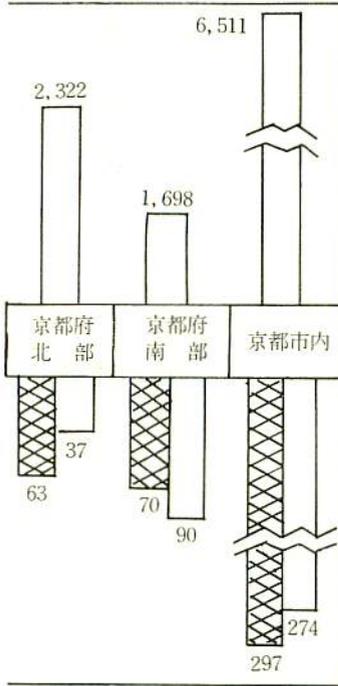
信徒は、毎日生活している家庭と、毎日  
働いている職場で、日々福音に従って生  
きるよう特用を召し出しを受けています。

この生活による信仰の「あかし」が信徒  
使徒職の基本です。勿論これが信徒使徒  
職のすべてではありません。しかし、信  
徒使徒職の重要な部分であります。

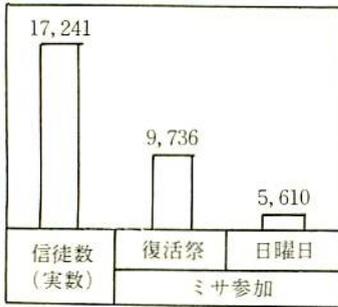
「キリスト者としての召し出しは、そ  
のまま使徒職への召し出しでもある。」  
(信徒使徒職に関する教会)

現勢調査報告

地区別信徒数(実数)



地区別転出・転入者数



信者数とミサ参加者数

地区名	教会名	信徒数		ミサ参加		洗礼		転入	転出
		総数	実数	日曜日	復活祭	成人	幼児		
京都市内	河原町	1,640	1,580	700	1,000	14	16	38	74
	西院	1,070	809	150	250	20	13	35	20
	衣笠	758	634	185	280	15	8	32	26
	高野	741	588	222	523	15	11	32	66
	桃山	557	542	120	240	9	13	51	12
	九条	536	491	85	160	1	6	8	22
	桂	496	487	135	172	1	8	14	14
	伏見	402	386	120	250	15	5	28	24
	山科	391	308	125	200	7	3	16	21
	西陣	338	290	90	160	4	5	3	3
	小山	276	246	50	80	1	1	7	10
	北白川	204	150	100	150	7	2	10	5
	小計	7,409	6,511	2,082	3,465	109	91	274	297
京都府南部	田辺	568	563	220	340	30	20	41	34
	宇治	474	449	110	230	2	4	26	11
	園部	226	226	30	90	7	4	3	2
	青谷	230	196	60	150	0	4	0	9
	長岡	266	150	80	140	0	3	15	9
	亀岡	114	114	50	80	1	2	5	5
小計	1,878	1,698	550	1,030	40	37	90	70	
京都府北部	網野	481	431	80	170	0	0	7	11
	報恩寺	655	403	35	58	1	1	0	6
	宮津	399	399	100	150	9	5	10	18
	西舞鶴	373	336	165	215	0	2	1	6
	加悦	248	248	80	120	2	0	4	6
	岩滝	193	193	70	75	0	3	2	5
	綾部	115	115	25	60	1	3	0	1
	東舞鶴	145	100	30	50	2	1	3	2
	福知山	99	97	25	45	4	5	10	8
	小計	2,708	2,322	610	943	19	20	37	63

広告についての御案内

時報に広告掲載を希望される方は、編集部までご連絡下さい。  
 掲載は原則として、1ヶ年毎の契約(年6回発行)とし、1回当りの掲載料は10,000円です。  
 京都市中京区河原町三条下ルカトリック会館5F  
 教理センター内  
 京都教区時報編集部  
 TEL 075(211)3768



建築設計監理  
 一級建築士事務所  
 環境設計

〒601 京都市南区東九条下殿田町15  
 (市電九条車庫)

☎京都(075)671-6038

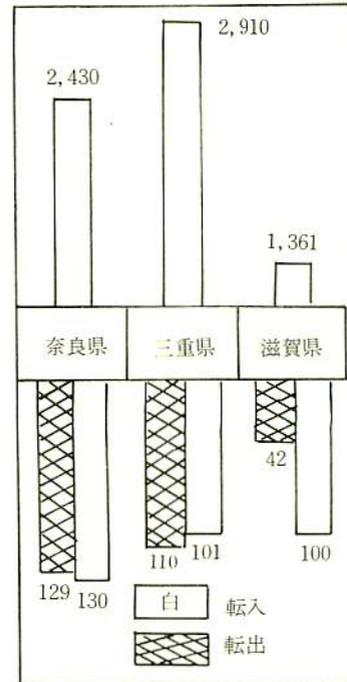
製菓材料・舶来食品  
 和洋酒・修道院製クッキー  
 ミサ用ブドー酒

タキノ

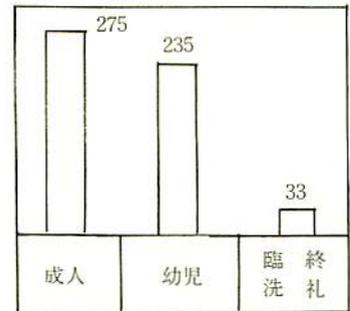
〒604 京都市中京区錦小路通鳥丸東入  
 電話(221)0976-7

地区名	教会名	信徒数		ミサ参加		洗礼		転入	転出
		総数	実数	日曜日	復活祭	成人	幼児		
滋賀県	草津	525	512	220	335	6	17	44	19
	大津	421	413	100	450	3	6	30	14
	彦根	292	292	70	189	3	2	24	9
	長浜	85	85	15	30	0	0	2	0
	唐崎	106	59	45	59	4	0	0	0
	小計	1,429	1,361	450	1,063	16	25	100	42
三重県	四日市	866	858	290	400	9	11	28	16
	松阪	507	468	145	300	8	2	5	11
	伊勢	518	372	110	207	9	5	15	7
	津	401	284	140	230	4	2	8	24
	桑名	282	268	60	200	2	6	15	8
	鈴鹿	269	204	60	140	6	5	13	17
	久居	176	172	50	70	3	0	6	7
	上野	175	162	80	110	10	0	9	4
	津南	95	95	40	60	0	0	1	4
	亀山	47	36	18	8	3	0	1	12
小計	3,336	2,919	993	1,725	54	31	101	110	
奈良県	奈良	818	760	250	400	15	12	28	27
	高田	425	424	125	290	7	3	29	26
	郡山	421	400	70	120	1	1	37	58
	八木	259	257	80	150	0	5	16	9
	登美ヶ丘	255	255	250	300	10	6	7	3
	富雄	218	218	80	160	4	4	12	6
	御所	131	116	70	90	0	0	1	0
	小計	2,527	2,430	925	1,510	37	31	130	129
京都府計	11,995	10,531	3,242	5,428	168	148	401	430	
総計	19,287	17,241	5,610	9,736	275	235	732	711	

1977年度  
京都司教区  
(その1)



(信徒総数から居所不明者をひいた数)

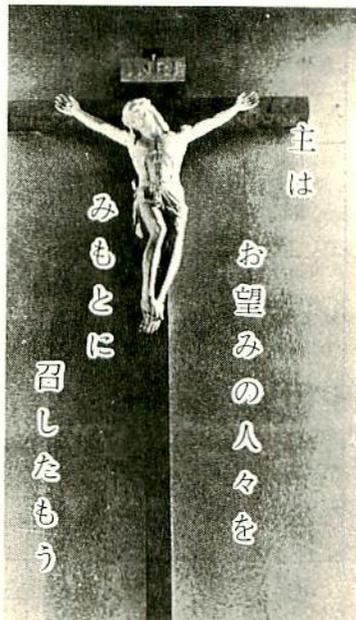


洗礼者数

**K**  
総合建築・土木  
コンクリート工事全般  
**河村建設株式会社**  
京都市中京区河原町通夷川上る指物町320の2  
電話(京都075)231-1137~9

タイプ・活版 } 各種印刷  
オフセット }  
**今道印刷**  
〒602 京都市上京区天神筋一条下  
ル下堅町152  
電話(075)463-6024番

地域環境に調和した  
ユニークな都市創りをめざして  
**金山工務店**  
本社 大阪市東区内淡路町1丁目2番地  
電話 942-5461番(代)  
滋賀支店 滋賀県大津市皇子ヶ丘1丁目2-3  
電話 24-1816番(代)



毎年復活第四主日(今年は四月十八日)は世界召命の日にあたっている。今春、京都教区から久々に二人の若者が上智大 学神学部に入会、又修道会に入会を希望する人々もいる。

現在京都教区に司祭、修道者ほどの位 いるのだろうか。京都教区には邦人司祭 29名外人司祭69名、修道士(邦人2名、 外人8名、志願者3名)神学生(教区2 名、修道会10名)修道女(邦人22名外国人 46名)である。福音宣教が増々叫ばれて いる折、司祭、修道者の仕事は、多岐に 渡ってきている。又物質文明に物足りな さを感じ、真理を求め、神を探求す る人が現在日本社会の各方面に増えてき ていることも見逃すことはできない。それ に反して召命が減少していることは、教会 にとって深刻な問題としてなげかけられ ている。

世界召命の日にあたり、神学生として 学んでいる人、そして今年新たに召命に 答えようと旅立ちの準備をしている人々 のために特別に祈りつつ今回、こうい

若い人達の声を集集としてお送りしたい。

なぜ神学校に行こうと

決心したか

(河原町教会) 大塚 喜直

「司祭になろう」と決心してから八年 近くなりますが、いよいよ大神学校へ行 くことになりました。「なぜ神学校に」という問いにまずこう答えましょう。キ リストの「私をのべ伝えなさい」の言葉 に従って働いている司祭の群に加わって、 その御言葉の成就に少しでも役に立ちた いからです。でもキリストとは何なの でしょうか。キリストを伝えるとはどう いうことなのでしょう。そして、それ は私の人生とどう関係しているのでしょ うか。私はこれから六年余の神学校生活 で私の召命を真に生きるために、これら の問いについて考えたいと思います。単 に司祭をめざす神学生というより、私自 身ひとりの人間として、私の人生をかけ るものは何か、私は本当にキリストを必 要としているか、人間の生き方としてキ

リストを求めるとはどういうことなのか。 じっくりと考えたいと思います。そして 久しく私の心に暖めてきた召命が神から のものと確信しながら、真の司祭とは何 か、それで司祭として何をなすべきかを これからの勉強と共に学び、折り求めて いきたいと思っています。

神学校に行くにあたって

(衣笠教会) 木村省二

幼児洗礼を受け、カトリックの家庭で 育てられ、洛星で学び、カトリックだけ が唯一の真理であるという純粋性と独善 性の中にいた私。その私が高二の時、統 一原理にふれ、同志社の神学部へ進み、 いろいろな教会をさまよいながら、カト リックとは正反対の道へと突き進んで行 く。しかし、その一見カトリックから遠 ざかって行くかのように見えた道こそ、 私を司祭の道へと導いてくれた唯一の道 であつたことを今しみじみ感じています。 「神は曲線を用いて直線を描かれる」神 学校に行くことを相談した時主任司祭が 下さった言葉」という言葉がびつたりの 心境です。

「セントメリーの鐘」という映画の中 に「何かを失ったから修道院に来たので はなく、キリストを得るために来たので す。」という言葉があります。より深い 主との出会いを求める燃える思いに貫か れてこれからも歩みたいものです。

今ここに自分のために与えられた 司教様はじめ、教区の皆様の有形無形の 支えには心より感謝しつつ。

召命を受けて

(河原町教会) 奥村 慈子

今、心を鎮めて自分の生活を振り返っ てみると、教会から離れていたたり、自分 勝手な価値観に生きていた時もあった。 そんな私に、忍耐深い両親と兄弟、霊的に 優れた方々の導きが常にあり、特に妹 の発病、帰天は深い意味を持ち、神の愛 を私に気付かせてくれた何より大きな、 出来ごとであつた。

いつ頃からか、イエズス様の生、死、 復活が十把一からげではなく、人間個人 個人に対するもの、つまり私だけの為で もあつたという事実が心を捉えて離さな くなった。神と私のダイレクトな関係 と共に、自分が神の愛ゆえに存在し、神 の許しによって生きていくことを知った。 そんな私には生涯を、主の私への命が けの愛に対する応えとして生きてゆかず にはいられない。ある人の言葉を通して 主への応えが私にとって修道生活かもし れない、と気付かされて以来その芽は、 静かに成長し続けている。主はすべての 出来ごとを通して弱い私を秘かに、でも 確実に導き続けて下さったと、今、心か ら言える。すべてを御手に委ねつつ、心 をすまして主のお招きの小さな一つまで を見逃さないよう生きてゆきたい。



修院の生活は早朝のミサからはじまる。

「恩恵の下に」

(松阪教会) 北村 良市

昨年四月、早副院長の次のようなおことばと共に、私たちの神学校での生活は始まりました。「我々司祭への道を歩んで行くこととする者にとっては、ただ神の恩恵と我々の自己奉獻とが重なり、一致するところにおいてのみ生きて行くことが出来るのです。」本当に恵まれた、そして楽しい神学生としての毎日です。でも……。自分の欠点を見せつけられるとき、こんな自分が果たして司祭になれるのか、と悲観的になります。あるいは、三人の娘を嫁がせ、ひとり息子を神学校へやり、田舎の家で寂しく暮らしている父母のことを思うとき、自分が本当に親不孝に思え、辛くなることもあります。又、友だちの、新しい人生をスタートして行くとの報を受けるときなど、自分ひ

一 志願者の祈り

(草津教会) 川測 浩

朝東風や 修士ら庭に 一列に――  
神よ、私は今ここに居ます。

聖フランシスコの子供となってあなたに従うために、この修道院に居ます。今ここに呼ばれたことを深く感謝しています。あなたは私のことを、私よりもよく知っておられたのです。深い自己愛のために滅びてしまいうだった時、あなたは救って下さいました。あなたのなごり方は、いつも手が込んでいて、いいえ時

とりが取り残されて行くような淋しい気持ちに陥ることもあるのです。あるいは又、人々の生活しているその現実の中においてのみ、はじめて司祭は働き、福音を伝えて行くことが出来るということを通して深く知らされるほど、あまりにも人生の現実から遊離したり、さらには逃避したりしている実際の自分の日々に、不安と焦りを感じてしまうことも少なくないのです。しかし、そんなとき、いろいろと本当に有難くお世話下さっている多くの方々のお顔が、心に浮かんで来ます。又

われら神学生



には、あまりにも単刀直入であったために、私はいつも戸惑いましたが、あなたに、神よ憶えています。私が淋しかった時に、よい友人とよい神父様をお与え下さったこと、私を修道院に送り出す日に、神父様と青年達が、特別にやさしかったこと等全てがあなたの導きでした。しかし、神よ、ひとつだけ困っています。寝坊な私にとって、五時半の起床は、ちょっとだけしんどいのです。何とかして下さい。(聖母の騎士修道会)

将来の司祭のためにお祈り下さっているにちがいない無数の方々のことを思うのです。そして、改めて自分に語るので決して自分ひとりの力で司祭になるのではないのだ。多くの人たちが祈り、支え、司祭へと育てて下さるのだ。そして、じつは主が、すべての人々を通して、この私にも、恩恵に満ちた導きをお与え下さっていることを信じないではいられません。私たちが、自己を奉獻しないではいられないほどの、申し訳ないほどに有難い神の恩恵！深い感謝と喜びと平安のうちには、ますますこの道を歩んで行きたい、否、歩ませていただきたいという気持ちが湧いて来ます。

(伏見教会) 川井 健蔵

皆様のおかげで神学校に入学して、二年の月日が流れました。未熟な私がこの二年間を無事にすごすことができましたのは、皆様の暖い励ましとお祈りのたまものであると感謝しております。また皆様のお祈りのおかげで、今春より京都教区の神学生は総勢四名になります。今まで同様お祈りをお願いいたします。

先日東京で警察官の女子大生殺しがありまして、マスコミにざわしました。そして世間では、大変異常なことがあったように思われたようでした。しかし私には日常茶飯事におこっている事件、例えば母親が実子を殺す方が異常だと思

詩

ミシェル・クオスト

わたしはある時  
福音に命をかけている司祭が  
福音を語るのをききました。  
へりくだった者、貧しい者は、  
それを聞いてうっとりとし、  
有名人やお金持は  
それをきいてつまづきをおぼえました。  
そのときわたしが思ったのは、  
福音をそのように語るなら  
いま教会に来ていない人が来るようになるだろう、と  
そのときわたしの心にうかんだのは  
名ばかりのクリスチャンに  
良く思われることは  
キリストの弟子たる者には恥のしるし  
だ、と  
むしろ、そういう人達からは、気が  
いや急進派としてきめつけられたほう  
が本望だ、と  
そういう人たちに追及されて、追放の  
署名運動を起こしてもらったほうがよ  
からう、と。

「共同体」という言葉をよく聞きますが、これは単に親睦の深い団体だけではなさそうでもっと深いお互いのかかわり合いが必要であるようです。聖パウロの言うように、「教会は、神の充満が宿っているキリストの満ち満ちているもの（コロサイ2:9、エフェソ1:23）である」のであるれば、その教会という集会は、単なる自然的な愛だけで結ばれているものではなく、そこにはキリストが生きています。そして、教会の一人一人は、キリストと共に、キリストの中に、皆お互いに結ばれて生きており、お互いが、生命の深い所でかかわりを持っていることとなります。私たちがあずかる聖餐（ミサ）は、この私たちの交わりを主において実現してください。

この主における交わりを土台にしてキリ



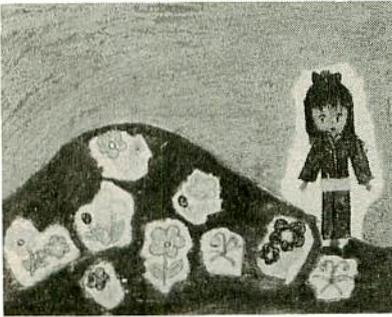
共同体づくり

ストの共同体はできていると思います。主における交りによって、私たちが、互いの力、時間、物、お金を出し合って神の国の為に働き、お互いの心の奥を開いて、失敗も傷も、喜びも悲しみもその体験を分け合い、お互いの為に捧げる祈りを通して聖霊の慰めといやしを一人一人が受けられるとき、キリストにおける「共同体」が始まっていくように思います。

齊木嘉作 神父  
(桂教会主任)

小教区の頁 桂教会

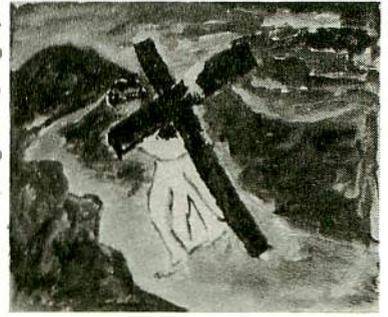
コント 終末的出会い。



アフリカで宣教師が森を抜けようとする時、突然ライオンが現われた。観念して最後のお祈りをはじめるとライオンの方でも祈っているではないか。

「あ、兄弟よ 最後の時が来たと思ったのに、今ここで共に祈る事ができるとはなんと嬉しいことでしょう」

ちよっと待って下さい。今、食前の祈りをしているのですから」



それと同じです。宗教教育も——齊木神父様はこういわれました。その一言で、私たち委員一同は、ようやく腹をさめて教会学校を始めるためのいろくんの準備をはじめました。子供たちの名前を調べあげることから、親たちへのアンケート調査、教材さがし、部屋づくり……。しかし、なによりも、私たちが子供たちにとって接するかが大きな課題でした。

家庭で多少の公教要理を子供に教えたことはありますが、よその子供たちにも教えるというのは気の重いことです。神父様と毎週勉強会を持って、なんと子供たちの前で話ができるようになりまして。問題は、なによりも子供たちと友

ただ今 三十数名の子供たちと奮闘中！  
— 桂教会学校の素人先生たち —

前の神父様の転任によって一時中断していた桂教会の教会学校が、昨年の四月から約三年ぶりに再開されました。

もつとも、簡単にことが運んだわけではありません。再開されるまでには、信者の宗教教育委員メンバーと、新任の齊木神父様と、そして教理センターのシスターとの間で、何度も話し合いがもたれたのです。

いろいろな声が委員の中から出て、なんとか神父様に子供たちの宗教教育を任せようとなりました。宗教教育委員とは神父様のお手伝いをするだけのものと思いきなでいた私たちです。それがなんと、私たちだけの手で教会学校を始めるはめになってしまったのです。

「子供を教育するのは親の務めでしょう。」

だちになること。それが一つの共同体をつくる基本になる。こうして、この一年、子供たちとの「友だちづくり」に重点を置きました。そのため、公教要理は二の次になってしまったかも知れませんが、でも、先生一同にとっては、本当にすばらしい「小さな友だち」との出会いです。教会学校を自分たちで始めて、一番大きな収穫だったと思います。子供たちにとつても、子供同志の新しい友情が芽生え、そして私たちに身近に接することで何かを得ることがあったに違いありません。この出会いを、いつまでも大切にしたいと思えます。

今まで何もかも神父様に仕事を背負わせてきた私たちにとって、この教会学校の活動は、何かこれからの信者のあり方

に一つの指針を与えてくれたようにも思われます。

この一年、さまざまなレクリエーション、バザー、夏季合宿、そして共同告解などを、子供たちと親とが一緒に行っていました。教会学校は、大人の信者にとつても、信仰を深める一つの実践の場になったわけです。神様のお恵みによって、約十人の子供が初聖体を受けることができたのも大きな喜びです。

この四月から、新しい友だちが十人ほど仲間入りをします。協力して下さる信者さんふえました。桂の教会学校にはより充実した前途が約束されているようです。

(桂教会) 品田 真人

読者の真「タマス」途上

子どもたちの眼

ぼくのたけのこ日記より

小二 中島 剛

「〇月△日」もしせかいにぼく一人だけいたら、ぼくは、おもちやさんからおもちやをたくさんとってあそびたいなあと思います。それにほんもののお車をつんでみたいですね。それにおかしやさんからあめをとってきてなめたりしたいなあと思います。でも友だちやお母さんがいないとさびしいです。おなががすいてもおはなが食べられません。ぼくは、やっぱり、せかいに一人だけいるのはいやだなと思います。

フリリッピンの子供たちの

スライドを見てノ

小四 紙屋 由美子

あの映画を見て、私が強く心に感じたのは私達はお金があれば、なんでもできると思っていたけど、フリリッピンのアーサー少年を見てみると、私達は、ぜいたくしているなと思いました。それにアーサー少年は、あんなに苦労しているのにあんまりお金は入ってこないなんて、本当にかわいそうだ。私がアーサー少年だとすれば、アーサーのように根気よくできるだろうか。たぶんできないと思う。だけど、こじきっていうのは働くのがいやでああいう風になったんだからしょうがないと思うけど、アーサーのように働いてもお金あまり入ってこないって、こういうのは、とてもかわいそうに思える。

土曜学校に来てよかったノ

中一 辻 千宏

こういう問題は、どの国にもあると思う。どうすれば、かい決できるだろう。私はアーサー少年のようなまじまじしくらしをしてる人を見るたびに、ぜいたくばかりしているように思うのです。これからは、ぜいたくをしないようにしようと思ってもなかなかおきません。これからは、むだずかいやぜいたくはしないようにしよう。

土曜学校に来て、よかったなと思うことは今まで全く知らなかったお友達と話ができるようになったこと。又、今まで全く知らなかった聖書の内容を話していただいた事によって少しずつ聖書に興味を持ちはじめた読むようになったことではないかと思えます。

聖書の中にある「いつも喜びなさい」という言葉は、私をはげまし元気づけてくれた言葉の一つです。少しオーバーかもしれませんが、いつも喜びなさい」という言葉を思い出したら「これも人生の中の試練の一つなんだな」と思ったりしていくらなぐさめられたかしれません。

中学校になって勉強や部活動に追われている私達にとって、ほんの少しの時間でもほっとしたような気持ちになって、その上英語の勉強ができたのだから、素晴しく充実した時間だったと思います。今まで一生懸命教えて下さった神父様、シスターどうもありがとうございます。

教区行事より

峰山教会工事中

昨年の八月にホーン師の後任としてメリノール会のウインテングル神父様が網野、峰山大宮教会の主任司祭として着任されました。その歓迎会の時に峰山教会は六百坪の大きな土地を持ちながら狭い飯教会で苦勞している事や教会を建てたい一心で二年前から積立金を始め、現在150万円のこと等を話しました。神父様は、「建てましょう。お金のあるだけ建てていくのです。お金ができたら柱を建てて屋根を作り、又できたら壁をつける。このようにして一年でできなければ二年がかりでも」と言われます。この熱意に私達信徒は教会建設に立ち上がりました。

舞鶴にある教会を解体して、峰山に運ぶ作業の時など、峰山の信者は勿論、網野、大宮の信者総出で、又亀山教会の信者さんで本職の方が二名応援に来て下さったり、当町の牧野工務店が利益を見込まないで工事を請負って下さる等、多くの人の善意により現在六分通り工事が進んでいます。しかしこれが大変です。京都教区の皆様のお祈りを切にお願いいたします。皆様、物心共なる援助を(編集部)



求道共同体セミナー

大和郡山教会

金魚の町、郡山から当教会で最近行われた求道共同体セミナーについてご報告しましょう。

ルーニー神父様が当教会へ着任されたのが昨年の春。その時以来、「聖書、要理の勉強をしたい」というみんなの声を聞かれて、想を練り、計画されて、実現したのがこのセミナーです。

二月一日(木)から三月十八日(土)まで、毎週木、土曜日の午後七時三十分から九時まで、当教会の集会所で開催されました。指導チームは大和郡山の後藤神父様と東京教区の広瀬さん、高松教区の大浦さんのお三人。四旬節の期間中、私たちの魂が洗われたようで本当にありがとうございます。私達はどのようにして生きているのでしょうか、「生きる目的は」、「死とはなんでしょう」等々——私たちが自身について考え、信仰について一層の自覚を得られた貴重な時間でした。参加者一人ひとりが何か一品持ち寄り催した小パーティ、また最後の週は二泊三日の合宿、これらを通して、共同体意識はさらに深まりました。

このセミナーはスペインで始まり、ヨーロッパ中に広まり、成功をおさめています。日本では、五年前岩国で始まり、京都教区では郡山が始めてのことです。この一層深まった共同体がさらに大きい輪となるよう、今年もがんばります。

# 芽生え (六)

## —京都教区五十年をふり返って

### 古屋義之

戦後の喧嘩とした時期も次第に落ち着きを取りもどし、国の再建はまず教育問題から始まりました。占領軍は日本のこれからの教育に関する方針を公けに発表した中で、これからの日本の教育は男女共学にすべきだという事がうたわれてありました。今まで「男女七才にして席を同じゅうせず」と長い間男女別学の教育だった日本がはたして男女共学をスムーズに受け入れることができるかどうかは、大きな疑問でした。そしてこのことについては有識者は勿論、巷でも共学論議に花が咲いたことでした。

そんなある日、京都の木屋町で教育問題についての話があるという事で、私も出席するように呼ばれました。行ってみますと、教育関係者、新聞関係者等四十名程集まっており、戦後の日本の教育をどうすべきかを話し合っていたのでした。勿論男女共学についても話が及びます。しかしこれといった確信のある意見はないようです。私をこの会に招待した方が「古屋さんはどんなお考えですか。カトリックとしてどんな方針をおもちですか」と私に矛先を向けてきました。私は個人的な意見であると前置きして申しました。「男女共学をすべしと軍が発表したのは絶対的なものではないと思う。今までの

日本の習慣であった男女別学から突然共学にするのは無理なような気がする。幼小、そして大学は共学で良いが思春期に入ると中高生も共学にするのはどうだろうか。すべての教育の時期を共学にするのは賛成できない。」

次の日の朝、新聞を見ると昨日の教育集会の記事がさっそく掲げており、驚いたことには多くの人が発言したにもかか



お若い頃の古屋司教(左二人目)とマキノ神父(内)

わらず、古屋司教談と、私の発言だけが出ていたので。その日の午後府庁から電話がありました。

「古屋さんですか。私は、今朝の新聞を見て驚きました。あなたは軍の占領目的に反抗するのですか、あなたの発言は法令第〇〇条に反しています。すぐ府庁まで出頭して下さい。」その電話で通訳を通

して話しているのはケイズという文官で、非常に厳しい人で、皆イケズ、イケズと呼ばれ恐れられていました。私も普通に出頭したのでは負けてしまうと、メリノール会のマッキエロ神父様と一緒にいてきてくれるよう頼みました。神父様は快く引き受けてくれ私と一緒に府庁のケイズ氏の部屋に入りました。ケイズ氏は、私がローマンカラーの大きな身体のアメリカー人と一緒にいるので少々驚いたらしく隣の部屋から陸軍の軍服をつけた少佐を応援に連れて来て、二対二で話し合いを始めました。

ケイズ氏がまず最初に口火を切りました。「私は米国会衆の名においてこれから話します。私も負けじと、私、古屋司教は個人の名においてではなく、カトリックの名において話します。」と宣言し話し合いが始まりました。その後はすべてマッキエロ神父にまかせた形にあり、米国内でも男女別学の学校も多くなり、それぞれ特色をもって教育しているからすべてを共学にする必要はないことを力説し、長時間の話し合いの結果こちらの意見を聞き入れてくれ法令違反という汚名を受けることなく終わったのは幸いでした。後でマッキエロ神父は「もしどうしても共学にするというのなら米国のカトリック系の雑誌や新聞に日本で占領国はこの様な横暴ことをしていると書いてやろうと思った。」と言ったものです。私はこの時の話がきっかけとなり京都にぜひカトリック系の学校を作りたいという望みに燃え立ったのでした。 つづく



時報が対話の手段ならば「互いにも、投稿者も編集者も、心を開けあ

◆運まきながらご復活おめでとうございませう。四ヶ月目の編集作業。まだ油がのる所までは無理。でもテンポイントまがい今年もみんなと一緒に走ります。(Y)

◆遅刻常習ながらも、編集室の窓から、遂に四季の変化を見届けた。幾分慣れたところで四頁の増頁、本日は編集長不在で文句を言う相手もなし・・・(き)

◆春です。春には淋しい顔も哀しい顔も似合いません。ちよっぴり眠たいけれど緑の絵具で淡く色どられた野原で、追っかけっこもいものです。四月、新しい出合いを大切に。(亜)

◆制限時間いっぱい、もう足が地につきません。やっぱり四頁もふやしたのが過重労働の原因か。でも復活祭でもあることだしサービスしましょう。(O)

◆私について来たかったら、十字架を取って、これは主の言葉です。「それは出来ません」これは私達の言葉です。でも何んとかついて行けたらなあ。(M)

(訂正とおわび)前号の「同和問題を考える」の筆者の井上新二氏が新三になっていましたので訂正いたします。